



# 星の郷総合教室

# No. 203

平成29年 5月25日発行

電話072-895-6230

月	日	曜日	予定
5	25	木	
	26	金	
	27	土	i-test一斉実施
	28	日	
	29	月	授業料引き落とし
	30	火	
	31	水	
6	1	木	
	2	金	
	3	土	暗算検定・通常授業あり・特練5時 グランプリジャパン申込締め切り
	4	日	グランプリ大阪大会
	5	月	
	6	火	
	7	水	
	8	木	授業料引き落とし予備日
	9	金	暗算検定発表
	10	土	特練5時～7時
	11	日	
	12	月	
	13	火	
	14	水	
	15	木	
	16	金	
	17	土	特練2時～5時
	18	日	
	19	月	
	20	火	暗算検定証書交付
	21	水	
	22	木	
	23	金	
	24	土	特練3時～7時 A1大会申込締め切り
	25	日	能力検定・段位検定
	26	月	
	27	火	
	28	水	授業料引き落とし
	29	木	
	30	金	

## 特別練習の予定と対象者

6月3日(土) 午後5時～7時

○アドバンスト・チーム (A-team)

○グランプリ大阪府予選出場者

○段位・能力検定受験者

6月10日(土) 午後5時～7時

○アドバンスト・チーム (A-team)

○段位・能力検定受験者

6月17日(土) 午後2時～5時

○アドバンスト・チーム (A-team)

○段位・能力検定受験者

6月24日(土) 午後3時～7時

○段位・能力検定受験者のみ

## 5月i-testについて

5月i-testは5月27日の午前10時30分から実施します。27日に受験を希望する皆さんは26日までに申込を済ませておいてください。27日に受けられない場合でも、5月中ならばいつでも申込・受験できます。

## グランプリ大阪府大会

大会は守口門真商工会館（京阪電車門真市駅より徒歩15分）において、6月4日午前9時開始、正午終了予定で開催されます。現地集合・現地解散を基本としますが、引率を希望する皆さんは申し出て下さい。

## グランプリジャパン

2017年そろばんグランプリジャパンは7月23日に神戸市において開催されます。6月4日の予選大会で代表に選ばれなかった皆さんや、予選会に出場しなかった皆さんも自由参加選手として出場することが可能です。申込期日が6月4日の予選会当日になっておりますので、決勝大会への出場を希望する皆さんは、6月3日までに申込書と参加料を提出して下さい。申込書は教室にあります。予選の成績で決勝に出場するかどうかを決める場合でもいったん参加料を添えて申込書を提出して下さい。出場を取りやめる場合は6月4日に会場にてお返しします。

## A1グランプリ大会

7月16日に行われるA1大会の申込書を出場可能なレベルに達している生徒の皆さんに配布していきます。多数の参加をお待ちしております。会場は枚方市立地域活性化支援センター（「輝きプラザきらら」内）、午前11時30分開始、午後5時終了予定です。

## 中学生クラス

6月12日（月）から期末テスト終了日まで、そろばんの授業時間中、教室2階を学習スペースとして開放します。また、従来通りの中学生クラスを6月20・27日（火）午後7時20分～9時まで設置します。そろばんの練習、テスト勉強、日常の勉強の何に使っても構いません。

## 6月3日暗算検定について

6月3日実施の暗算検定は、午前10時30分から行います。都合が悪い皆さんは6月1日・2日の授業中に受検で

きます。3日の通常授業はあります。

## 6月25日検定について

段位・1級～3級…星の郷教室 8時  
☆当日は午前7時に教室を開けます。  
自由に練習してください。前日受検申請済みの皆さんは試験時間を尋ねてください。

## アバカスフェスタ2017

### 【かけ算】

#### バンビ部門

4位 西畑美伶 6位 茅島陸斗

#### ジュニア部門

2位 藤江茉奈 3位 井上楽耀

6位 奥田花

#### スクール部門

1位 由比彩菜 2位 西能凌哉

9位 永津敦之

#### ジュニアハイスクール部門

1位 金本愛夢 2位 和泉初音

3位 岩成桃 7位 兼松咲菜

8位 奥田南海 10位 盛井結子

### 【わり算】

#### バンビ部門

4位 西畑美伶 10位 茅島陸斗

#### ジュニア部門

3位 藤江茉奈 6位 井上楽耀

#### スクール部門

4位 西能凌哉 5位 由比彩菜

#### ジュニアハイスクール部門

1位 金本愛夢 2位 岩成桃

5位 和泉初音 7位 盛井結子

### 【みとり算】

#### バンビ部門

4位 茅島陸斗 4位 西畑美伶

#### ジュニア部門

3位 藤江茉奈 6位 奥田花

6位 茅島悠斗 10位 井上楽耀

#### スクール部門

3位 永津敦之      6位 山内美空  
9位 和泉琴音      10位 西能凌哉

ジュニアハイスクール部門

1位 金本愛夢      4位 和泉初音  
5位 岩成桃      10位 盛井結子

**【かけ暗算】**

バンビ部門

7位 茅島陸斗      7位 西畑美伶

ジュニア部門

4位 茅島悠斗      6位 奥田花

6位 津隈瑛翔

スクール部門

6位 永津敦之      7位 由比彩菜

8位 西能凌哉

ジュニアハイスクール部門

2位 金本愛夢      4位 和泉初音

7位 兼松咲菜      8位 盛井結子

**【わり暗算】**

バンビ部門

7位 茅島陸斗      7位 西畑美伶

ジュニア部門

4位 藤江茉奈      7位 奥田花

7位 茅島悠斗

スクール部門

4位 山内美空      5位 西能凌哉

7位 永津敦之

ジュニアハイスクール部門

2位 金本愛夢      3位 岩成桃

4位 和泉初音      5位 兼松咲菜

6位 奥田南海      8位 盛井結子

**【みとり暗算】**

バンビ部門

4位 茅島陸斗      6位 西畑美伶

ジュニア部門

2位 藤江茉奈      4位 奥田花

5位 茅島悠斗

スクール部門

3位 山内美空      9位 永津敦之

ジュニアハイスクール部門

1位 金本愛夢      3位 和泉初音

**【総合成績】**

○小学2年生以下の部

6位 西畑美伶

7位 茅島陸斗

○小学3年生の部

3位 西松美咲

8位 高山優

○小学4年生の部

3位 藤江茉奈

9位 奥田花

10位 茅島悠斗

○小学5年生の部

2位 永津敦之

6位 山内美空

7位 和泉琴音

9位 大上航正

○小学6年生の部

1位 西能凌哉

7位 由比彩菜

○中学生の部

1位 金本愛夢

3位 和泉初音

5位 岩成桃

7位 兼松咲菜

10位 盛井結子

**出席時間20時間以上の生徒**

(5月20日までの1ヶ月)

藤江茉奈50 久本和奏47 澤田一心47

林和花45 井上心結38 和泉琴音37

奥田花37 西畑美伶37 茅島陸斗36

永津敦之36 山内美空36 西松美咲35

井上寛大33 林寿百30 由比彩菜30

松井一真29 村田拡己29 大上航正29

兼松咲菜29 和泉初音28 西井萌28

福原健太28 梶原進太27 松岡亮大27

森本爽月27 金本愛夢26 土橋菜白26

井上楽耀25 外間彩乃25 小林千尋24

茅島悠斗24 津隈瑛翔24 大内峻聖23

深江萌黄23 早野蓮23 一宮敬智22

石川ひなた22 森本一生22 西松優大

21 吉村健太郎21 大土井穂賀21 大

土井慧賀21 藤原梨乃21 野々村誉良  
20 興田佳歩20 金子直毅20 高津侑  
良20 高津乃愛20

(あと1時間だった皆さん) 田代和花 大土井楓  
賀 泉脇勇汰 久堀力翔 櫻木あずさ 谷風拓海  
高山優 中村颯希 福井太一 松岡晃大

### 猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

會川能子96 櫻木あずさ73 森田恭生  
71 津崎潤人70 前澤咲希55 山川侑  
那55 前澤咲来52 稲垣綜一郎49 黒  
田麻友47 辻奏音46 辻心絆46 野々  
村快生42 石川晴貴41 藤原純平40  
沼田陽南乃39 杉野咲36 堀田晃希35  
堀田征希34 柿木彰乃28 八幡泰嘉26  
上之園実桜26 辻悠翔24 佃紫苑21  
引波花莉音21

### フラッシュ暗算合格者

(5月20日までの1ヶ月間)

- 七段 藤江茉奈
- 五段 和泉琴音 佐野幹太
- 四段 兼松咲菜
- 三段 早野蓮
- 二段 井上寛大
- 初段 深江萌黄 茅島陸斗 中村結菜
- 1級 野々村誉良 中村結菜
- 2級 久堀力翔 佐野吟次朗
- 3級 佐野吟次朗
- 4級 仲井蒼純 満田智也
- 5級 興田佳歩
- 6級 米山すみれ 二反田陽翔  
興田佳歩
- 7級 江藤陸 村田雄真
- 8級 室宏樹 村田雄真
- 9級 田中菜摘 梶原進太 室宏樹
- 10級 梶原進太

◎星田小学校4年生、井上楽耀くんのお母さんに、4月に行われました全日本ユース珠算選手権大会についての感想文をお願いしましたところ、快く寄稿して頂きましたので紹介させていただきます。

## 全日本ユース大会を観戦させていたただいて

このたび、全日本ユース大会を初観戦させていただきました。本大会の感想や、日ごろ星の郷総合教室で学ばせていただいている中での率直な思いを書かせていただきます。

張り詰めた緊張感が漂う会場に、「はじめ」の号令が響き渡ると、一斉に用紙を裏返す子どもたち。

そろばんをはじく子、暗算をする子、また体を波のように揺らして目だけで計算する子など、皆それぞれが磨いてきた技で、会場にはすごいスピードで数字を記入するペンのカリカリという音だけが響き渡っています。その張り詰めた緊張感が観客席にも伝わってくる中、一つひとつの競技が進んでいきます。

決勝競技では、先生の順位の読上げがまるで魚市場の競りのようで、なんとまあ迫力満点なこと！

素人にはとても考えられない桁、口数、題数の問題を数秒で解く子供の姿にもくぎ付けになりました。こうなるともう、何かマジックを見ているようです。

私が想像していたそろばんの世界とは次元が異なり、見るものすべてが驚きで、これほど1秒、2秒に全力を尽くす競技は他に類を見ないのではないのでしょうか。何より、学校や家では見

たことのない子供たちの姿に、ただただ驚かされるばかりでした。

そして、半日が過ぎ、結果発表の時間を迎えました。

当日撮影された動画を織り交ぜた映像には、自然と感動で胸が熱くなりました。この大会には「卒業」という概念があり、最終出場となった高校一年生が映像で紹介されます。そして、彼らは、来年運営スタッフとして大会へ恩返しをしていくとのこと。

正直、これはすごいシステムだなあと思います。単に全国順位を決める大会という枠組みを超え、そろばんを通した一つの世界が形成されていて、強い絆で結ばれているのです。きっとそれが伝統というものなのではないでしょうか。

スポーツ等どんなジャンルにおいても、選手としてある程度上を目指すようになると、当然ながら競争も激しくなります。ポジションを取りたい、トップでいたい、その思いや焦りが、時にチームメイトや後輩に嫌な思いをさせたり、真っ向勝負ではない方法で追い落とししていくことも多々あると思うのです。

我が子がそろばんの大会に出るようになって、1年以上経ちますが、そういう事は一切なく、丸一日お弁当持参で参加する大会でも、一人で寂しい思いをすることがないよう、年上の子たちが声をかけ、一緒に食事をし、当たり前のように輪に招き入れてくれます。

金本先生の長年の指導によるものが多いにあるでしょうが、「チーム星の郷」として、新しく参加するメンバーを温かく迎え入れる素地ができてい

のです。名前を聞けば、全国でもすごい成績を残している子ばかり。心・技・体、すべてが伴っているからこそ、リーダーとして、そういう風に振る舞えるのではないのでしょうか。

さて、話を転じて、日ごろ思っていることを最後に書かせていただきます。

もちろん、どの子どもがそろばんに没頭し、大会を目指すようになるわけではありません。我が家も上の子は「ある程度暗算はできるようになったかな…」というレベルで卒業しましたし、他に時間をかけている習い事も人それぞれあるでしょうし、目標や取り組み具合も一樣だと思います。

しかし、どういうスタンスであっても、そろばんをさせてよかったという思いに違いはありません。

理由は二つ。

まず一つは、計算力はもちろんですが、集中力、忍耐力が間違いなくつくということ。

そして二つめが、幼少期から、厳格な（怖い？）先生に接して指導を受けるという強烈なインパクトを与えられることです。

今、小学校では昔のようにいわゆる怖い先生はまず見かけません。優しい女性の先生と多く接してきた子供たちにとって、金本先生との出会いは、ものすごく強烈です。我が子二人とも、最初は怖いと言いました。でも、意外に先生は面白い、優しい、教え方がすごい…そして何年かして、尊敬の念を抱くようになります。ですから、上の子も中学にあがって多少怖い先生や部活の顧問と出会っても、免疫ができて



いるのでしょうか…「金本先生よりは怖くない、まあいい勝負かな？」という風に話したりします。

敬語を正しく話すこと、姿勢や身だしなみ、自転車の止め方等々、習い事でここまできめ細やかに指導して下さる先生が今時いらっしゃるのでしょうか。まるで我が子のようにマナーやルールまで厳しく指導し、接して下さる先生に、親として何より感謝しています。

ちょうど合宿の募集も始まりました。去年初参加だった息子は、申し込んでからしばらく、後悔の念や不安で数日寝れない日々が続きました。それがうって変わって、今年は募集開始と同時に、先着順だからとにかく早く申し込んでほしいと珍しく自分から言ってきたのです。1年でこんなに変わるんだなとびっくりしましたが、それだけ充実した3日間を過ごしたのだと感じています。

恩師・教え子という関係が長く続く世界は、今の時代そう多くはありません。ユース大会を見て率直に感じたのは、昔ながらのそういう伝統、絆、結びつきが、そろばんを通して今でも生き続けているということです。長年、あれだけの会の運営をされてこられた先生方、スタッフの方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、初めて参加した息子も、来年、再来年とまずは大会出場を、そして更なるレベルアップを目標に、最終的にこの素晴らしい大会に恩返しができる感じています。

本当にありがとうございました。

2017年5月3日 井上美和子

-----  
◎かんさい情報ネットten（よみうりテレビ）で5月3日にユース大会の様子が10分以上にわたって放送されました。10回目を迎えたユース大会ですが、10年連続放送して下さっています。一昨年からは、系列局である中京テレビ・日本テレビでもほぼ同じ内容の放送が後日されています。今年は、中京テレビで5月18日にオンエアされ、日本テレビからは近日放送という連絡がきています。単に計算だけにとどまらない、子どもたちが一生懸命に取り組む姿がテレビスタッフに共感を生んでいるものと思います。

ユース大会には、他のどの競技会ともちがう空気感があります。何がそうさせているのかを正確に言い表すことは非常に困難なのですが、第一回大会からそんな雰囲気満ちていました。

選手、観覧の皆様、スタッフ。それぞれが場の空気、場の目的を感じ取って自分の役割や立ち位置を決めています。今大会が初参加という選手が全体の約4割で174名。詳しい説明を意識的に省き、できるだけ少ない指示が与えられることで、その指示がどういう目的でなされ、どんな行動が求められているのかを選手が考える大会はあまりありませんから、この174名にとっては最初は戸惑うこともあります。しかしながら、子どもたちの順応力は我々大人が考えるレベルよりも数段上ですし、またそう仕向けていくことで自然にそのレベルに達する子どもたちが増えていくのも事実です。もちろん、能力は様々ですから流れに乗ることが困難な子どももいますが、集団

が生み出すパワーがそんな子どもたちをも成長の流れに乗せていきます。

我々は、ただひたすらその様子を手を差し延べすぎずに見ます。我慢して待つこともあります。待つことは、時に教えることよりも難しいのですが、待つことで得られる果実と教えることで得られる果実とを天秤にかけ、どちらがより多くの成果をもたらすかを考えます。また、成果は、目先のそれだけではなく将来得られるものもあります。これら、果実の量と得られる時期という2つの材料を判断して指導したり指示を与えるのが、実は指導の醍醐味であり、難しさであり、楽しさでもあります。

実はこれは教室での日常でもあります。教材や指導法は常にベストを目指していますが、それはいつも今現在のベストであって明日もそれがベストであるとは限らないという、謙虚さとおそれと希望とのセットです。

大会や検定の模擬問題以外の当教室で使用している練習問題はすべて私の仮説に基づいて作成してきています。指導方法も指導内容も自分自身が経験してきた方法を吟味して決定してきましたが生徒たちの様子や伸びを見て思いついたらすぐに変更したり作り足したりしてきて今に至っています。

「今までのことをすべて忘れて、今日から全く新しい方法でかけ算をします」と宣言したことも過去に2回あります。混乱することは承知の上でしたが、混乱してでもした方が絶対に良いと決心して取りかかったものです。

問題の保管場所や保管方法にしてもそうで、生徒の動線を考えると、毎日

のように配置変更が繰り返されています。昨日までここにあったはずの問題がなくなっていて別のものになり、以前の問題は引き出しの中にある、なんていうことが常です。その日の練習内容は教室前方のモニターにテロップのように流しており、生徒たちはまずそれを読んで何をするか判断して行動しますが、行った先にあるはずの問題が、移動されていて無い、さて、どうしよう、ということになるのです。

教室内で起きる様々な変化に対応するために生徒たちはちょっとした逆風にさらされるわけですが、いつまでも同じ次元で戸惑う生徒は一人としていません。昨日までの経験が今日の知恵になり、今日の経験が明日の飛躍に向けてのエネルギーの一部になっていきます。

今年のユース大会では、競技を進めていく中で選手達が先を読んで自主的に行動していく様子を見ることができました。大きな果実が一つ実を結んだような気持ちになりました。

さて、井上様の文章の後段部分についてコメントします。

星の郷教室では、「当たり前前」の事を当たり前にしてしよう」ということがベースになっています。そのためにいくつかの決まりがあります。

「当たり前」は、実は地域や時期によって大きく隔たりがあります。家庭によっても違います。違って当然なので、私たちはそのときどきに応じて思考や行動を調整していきます。この調整力は、「社会性」（＝集団の中で自己を統制し適応させる能力）の成熟度ということもできますが、調整力

が年齢相応に育つことが望ましいのは言うまでもありません。

そろばん教室はそろばんを正しく速く弾く訓練をすることで集中力を伸ばし、同時に暗算力をつける習い事ですが、それだけでなく成長期にある子どもたちが過ごす場であることから、「子育て」にも関わっている責任を意識せずにはられません。

ですから、そろばん教室の「当たり前」は、知育・徳育・体育のすべての面で子どもたちを望ましい方向に進むように仕向けることが前提となります。

静かに集中して練習している中で一人大きな足音を立てて歩くこと。

返事の声が小さいこと。

手をきちんと挙げられないこと。

挨拶ができないこと。

鉛筆を削っていないこと。

持ち物に名前を書かないこと。

忘れ物をする事。

トイレを済ませずに教室に来て、いきなりトイレに駆け込むこと。

順番を守らないこと。

困っている人を助けられないこと。

いくつか書いてみましたが、なんて細かいことと思われるかもしれませんが。ただ、小さなことをおろそかにして大きなことはできません。上に書いた小さなことが改善されるだけで、大きな飛躍につながっていく可能性があるのです。誰にでもあることと開き直っては何も始まりませんから、意識に入っていくようにいろいろな言葉や方法で子どもたちに改善へ向けてアプローチするのが私たちの仕事です。

また、教室は地域社会の中で存在し

ているわけですから、地域社会の一員という顔もあります。地域社会で決めたルールや、地域社会で暮らすために自主的にルールを決めています。

自転車は教室周辺では乗らずに歩いて歩くこと。

送迎車は停車して生徒の帰りを待たないこと。

送迎車はテラス住宅内道路でUターンせずに突き当たりまで進むこと。

現教室と旧教室との間の道路を横断しないこと。

教室前では静かに待つこと。

多くは、生徒とご家族、地域住民の皆さんの安全と安心のために決められたものです。

そろばん学習は、決められた規則に従って正しく速く物事を処理する訓練です。そろばんの計算では「規則に従う」ことからすべてが始まります。

-----  
先日、教室のポストにメモ書きが入っていました。

**「塾の方へ ○○色の△△、ナンバーは□□ - □□（実際には車の形と番号が書かれています）子どもの送迎時に、いつもテラスの住宅の中に入ってきて、車をターンさせています。とてもスピードを出して危ないのでやめさせてください。宜しくお願いします。テラス住民」**

こうして伝えて頂けるのはとても有り難いことです。幸い、すぐに該当する車が見つかり直接お伝えすることができました。「雨降って地固まる」というようにしたいと思います。信頼を得るには長時間かかりますが、信頼を失うのは一瞬です。